

石岡市男女共同参画に関する市民意識調査 調 査 票 (案)

【ご記入にあたってのお願い】

1 回答していただくかたは…

この調査は、封筒のあて名のご本人がお答えください。

2 回答の方法は…

原則として回答記入欄の中であてはまる番号を○で囲んで下さい。お答えは設問ごとに（○は1つ）（○は2つまで）などと指定されていますので、設問をよくお読みになってご記入ください。また、「その他」を選択された場合は、具体的内容を（ ）内にご記入ください。

3 記入が終わったら…

無記名のまま、同封の返信用封筒に入れて、 月 日（金）までにポストへ投函してください。（切手は不用です）

4 この調査に関するお問い合わせは…

石岡市役所 市長公室 政策企画課 男女共同参画担当

〒315-8640 石岡市石岡一丁目1番地1

電話 0299-23-1111（内線 224・226）

ファクシミリ 0299-22-5276

電子メール kikaku@city.ishioka.lg.jp

それでは、ご回答をお願いします

あなたご自身について

F 1 性別はどちらですか。(〇は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

F 2 あなたの年齢(平成28年10月1日現在)は次のどれに該当しますか。

1 20歳未満	2 20～24歳	3 25～29歳
4 30～34歳	5 35～39歳	6 40～44歳
7 45～49歳	8 50～54歳	9 55～59歳
10 60～64歳	11 65～69歳	12 70～74歳
13 75～79歳	14 80歳以上	

F 3-1 あなたの職業はどのような内容ですか。
(2つ以上仕事をお持ちの方は主なものを1つ)

1 農林業(自営業主)	2 農林業(家族従事者)
3 商工・サービス業(自営業主)	4 商工・サービス業(家族従事者)
5 自由業(自営業主)	6 自由業(家族従事者)
7 雇用者(専門・技術職)	8 雇用者(事務職)
9 雇用者(労務職)	10 専業主婦・主夫
11 学生	12 無職

F 3-2 上記F 3-1で、7、8、9とお答えいただいた方におうかがいします。
(1) そのお仕事は常勤ですか。パートタイムですか。(〇は1つ)

1 常勤(フルタイム)	2 パートタイム(パート, アルバイト, 嘱託等)
-------------	---------------------------

(2) あなたの職名は何ですか。(〇は1つ)

1 役職, 管理職	2 非管理職, 一般職
-----------	-------------

F 4-1 あなたは結婚されていますか。

1 結婚している	2 結婚していないがパートナーと暮らしている	
3 離別	4 死別	5 未婚

F 4-2 上記F 4-1で、1と2にお答えいただいた方にお伺いします。あなたの配偶者の職業はどのような内容ですか。(〇は1つ)
(2つ以上仕事をお持ちの方は主なものを1つ)

1 農林業(自営業主)	2 農林業(家族従事者)
3 商工・サービス業(自営業主)	4 商工・サービス業(家族従事者)
5 自由業(自営業主)	6 自由業(家族従事者)
7 雇用者(専門・技術職)	8 雇用者(事務職)
9 雇用者(労務職)	10 専業主婦・主夫
11 学生	12 無職

F5-1 あなたにはお子さんがいますか。

1	いる	2	いない
---	----	---	-----

F5-2 F5-1で、1の「いる」にお答えいただいた方にお伺いします。
一番下のお子さんは、現在次のどれに該当しますか。(○は1つ)

1	小学校入学以前	2	小学生	3	中学生	4	高校生
5	専門学校, 短大, 大学, 大学院生	6	その他				

F6 あなたのお宅には、現在介護を必要とする高齢者の方はいますか。

1	いる	2	いない
---	----	---	-----

F7 あなたが現在生活しているご家庭の家族構成は、次のどれに該当しますか。

1	1人世帯	2	夫婦のみの世帯	3	親と子からなる世帯
4	親と子と孫からなる世帯	5	その他の世帯		

F8 あなたが現在お住まいの地区はどの中学校区になりますか。

1	石岡中地区	2	府中中地区	3	城南中地区	4	国府中地区
5	柿岡中地区	6	旧八郷南中地区	7	旧有明中地区	8	園部中地区

1 男女の地位の平等に関する意識について

問1 あなたは、次にあげる8つの分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。（それぞれについて該当する「1～6」に○を1つ）

	男性の方が非常に 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が優遇さ れている	平等である	どちらかといえば 女性の方が優遇さ れている	女性の方が非常に 優遇されている	わからない
(1) 家庭生活(家事・育児など)	1	2	3	4	5	6
(2) 職場	1	2	3	4	5	6
(3) 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
(4) 政治の場	1	2	3	4	5	6
(5) 町内会、自治会などの住民組織	1	2	3	4	5	6
(6) 地域活動	1	2	3	4	5	6
(7) 社会通念、慣習、しきたりなど	1	2	3	4	5	6
(8) 法律や制度	1	2	3	4	5	6

問2 では、あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。（○は1つ）

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 男性の方が非常に優遇されている |
| 2 | どちらかといえば男性の方が優遇されている |
| 3 | 平等である |
| 4 | どちらかといえば女性の方が優遇されている |
| 5 | 女性の方が非常に優遇されている |
| 6 | わからない |

問3 今後、あなたが、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために重要と思うことは何でしょうか。（○は2つまで）

- | | |
|---|---|
| 1 | 法律や制度の見直しを行い、女性差別につながるものを改めること |
| 2 | 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること |
| 3 | 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること |
| 4 | 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること |
| 5 | 国や地方公共団体や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること |
| 6 | その他（具体的に： _____） |
| 7 | わからない |

2 男女の生き方や家庭生活などに関する考え、役割分担などについて

問4 次にあげる男女の生き方や家庭生活などに関する考えについて、あなたの考えをお聞かせください。（それぞれについて該当する「1～5」に○を1つ）

	そう思う	思う	いえばそう	どちらかと思わない	い	そう思わない	わからない
(1)「男性（女性）だから」という決めつけは、その人の可能性を閉じこめてしまう	1	2	3	4	5		
(2)社会の意識や制度・慣行によって、男女が仕事や生き方について多様な選択ができていない	1	2	3	4	5		
(3)仕事や生き方について多様な選択ができるようにすべきである	1	2	3	4	5		
(4)男性も家事・育児に積極的に参加すべきである	1	2	3	4	5		
(5)男性は一家の中心として家族を一つにまとめ、指導力を発揮すべきである	1	2	3	4	5		
(6)女性は結婚したら自分自身よりも夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい	1	2	3	4	5		
(7)女性が仕事を持つのはよいが家事、育児もきちんとすべきである	1	2	3	4	5		
(8)女性（妻）が仕事を持って、男性（夫）が家事・育児に専念するという選択肢があってもよい	1	2	3	4	5		

問5 次にあげるような家事等を主に誰が分担していますか。また、家計費の管理等について最終的に決定しているのはどなたですか。（それぞれについて該当する「1～6」に○を1つ）

※一人暮らしの方で、ご本人自身が該当する場合は、4の「家族全員」に○をつけてください。

	夫	妻	一夫一妻	家族全員	その他	わからない	
家事等の分担	(1)掃除	1	2	3	4	5	6
	(2)洗濯	1	2	3	4	5	6
	(3)食事のしたく	1	2	3	4	5	6
	(4)食事の後かたづけ、食器洗い	1	2	3	4	5	6
	(5)育児（乳幼児がいる方のみ）	1	2	3	4	5	6
	(6)高齢者の世話、介護（対象者がいる方のみ）	1	2	3	4	5	6
最終決定者	(7)家計費管理	1	2	3	4	5	6
	(8)貯蓄・投資	1	2	3	4	5	6
	(9)土地・家屋の購入	1	2	3	4	5	6
	(10)夫の就職・転職	1	2	3	4	5	6
	(11)妻の就職・転職	1	2	3	4	5	6
	(12)子の教育・就職（子どもがいる方のみ）	1	2	3	4	5	6
	(13)家庭において全体的な実権を握っている人	1	2	3	4	5	6

問6 「男は仕事，女は家庭」という考え方がありますが，あなたはこの考え方をどう
 思いますか。（○は1つ）

1 同感する	2 どちらかといえば同感する	
3 どちらかといえば同感しない	4 同感しない	5 わからない

問7 次にあげるア～ウについて，あなたはどれくらい時間をかけていますか。平日（月
 曜日～金曜日），土曜日，日曜日それぞれの1日あたり平均時間をご記入ください。

※時間をかけていない場合は0分としてください。
 ※次の①～④はア～ウに含めないでください。
 ①洗顔・入浴・トイレ・身じたくなど自分のための時間， ②食事・飲食の時間，
 ③家族と団らんやお茶の時間などの休養の時間， ④ペットの世話

ア 家事	家事の時間は 平日 土曜日 日曜日 _____分 _____分 _____分 炊事，食事の片付け，掃除，洗濯，衣類整理，家計簿の記入，庭の草とり，通勤，通学などの送 迎，単身者が行う炊事，掃除，洗濯等，家族の身の回りの世話（ただし，小学校入学前の子ども の身の回りの世話は「イ 育児」とする。）
イ 育児	1. 育児に該当する子どもはいない 2. 育児の時間は 平日 土曜日 日曜日 _____分 _____分 _____分 乳幼児・小学校入学前の子どもの身の回りの世話，子どものつきそい，子どもの勉強相手，子ど もの遊び相手
ウ 介護・ 看護	1. 介護・看護を必要とする家族等はいない 2. 介護・看護の時間は 平日 土曜日 日曜日 _____分 _____分 _____分 家族・親族に対する日常生活における入浴・トイレ・移動・食事などの手助け，看病，一時的な 病気などで寝ている家族の介護・看護

問8 近年，少子化が急速に進んでいますが，子どもの出生数のことでお伺いします。

(1) あなたの理想とする子どもの数は何人ですか。（○は1つ）

1 4人以上	2 3人	3 2人
4 1人	5 0人	6 わからない

(2) 実際の子どもの数又は実際に子育てできると思う数は何人ですか。（○は1つ）

1 4人以上	2 3人	3 2人
4 1人	5 0人	6 わからない

(3) (2)の実際の数が、(1)の理想の数よりも少ない方にうかがいます。その理由は何ですか。(○は3つまで)

- 1 出産・子育ての身体的・心理的負担が大きいため
- 2 子どもの教育等経済的負担が増えるから
- 3 年齢的な理由から
- 4 仕事と子育ての両立が困難だから
- 5 子育てに対して配偶者の理解、協力がいないから
- 6 子育てより自分の時間を大切にしたいから
- 7 欲しいけれどできないから
- 8 その他(具体的に: _____)

3 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について

問9 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の状況において、理想はどうあるべきだと思いますか。また、実際はどうですか。(現在、仕事を行っていない方は今後のお考えをお答えください。○はそれぞれ1つ)

用語の
意味

- ・「仕事」・・・自営業主(農林漁業を含む)、家族従業、雇用者として週1時間以上働いていること。常勤、パート、アルバイトなどを問いません。
- ・「家庭生活」・・・家族と過ごすこと、家事、育児、介護、看護など。
- ・「地域・個人の生活」・・・地域活動(ボランティア活動、交際・つきあいなど)、学習・研究(学業も含む)、趣味、娯楽、スポーツなど。

【理想】

- 1 「仕事」に専念している
- 2 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先している
- 3 「家庭生活」又は「地域・個人」の生活と「仕事」を両立している
- 4 「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活を優先している
- 5 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念している
- 6 よくわからない

【実際】

- 1 「仕事」に専念している
- 2 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先している
- 3 「家庭生活」又は「地域・個人」の生活と「仕事」を両立している
- 4 「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活を優先している
- 5 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念している
- 6 よくわからない

問10 男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか（〇は3つまで）

- | | |
|----|--|
| 1 | 家事などの分担について、夫婦や家族間で話し合い、協力すること |
| 2 | 男女の役割意識についての社会通念、慣習、しきたりを改めること |
| 3 | 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと |
| 4 | 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと |
| 5 | 男性の仕事中心の考え方を改めること |
| 6 | 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間作りをすすめること |
| 7 | 男性が家事、子育て、介護、地域活動などに関心を高めるよう普及啓発や情報提供を行うこと |
| 8 | 男女がともに家事、子育て、介護、地域活動などに必要な知識を学ぶ機会を充実させること |
| 9 | 労働時間短縮や休暇制度を普及させること |
| 10 | その他（具体的に： _____ ） |

4 就業について

問11 就業に関してお伺いします。

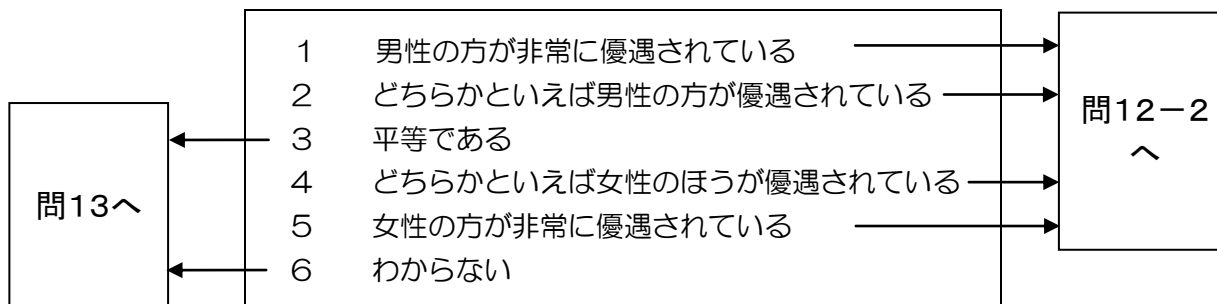
(1)仕事をこなす能力に対する男女差はあると思いますか。（〇は一つ）

- | | | | | | |
|---|---------------|---|---------------|---|-------|
| 1 | あると思う | 2 | どちらかといえばあると思う | | |
| 3 | どちらかといえばないと思う | 4 | ないと思う | 5 | わからない |

(2)男性向き、女性向きの仕事内容はありますか。（〇は一つ）

- | | | | | | |
|---|---------------|---|---------------|---|-------|
| 1 | あると思う | 2 | どちらかといえばあると思う | | |
| 3 | どちらかといえばないと思う | 4 | ないと思う | 5 | わからない |

問12-1 職場における男女の地位は平等になっていると思いますか（3ページ問1の（2） 職場と同じ答えになります。〇は一つ）



問12-2 問12-1で、1、2、4、5とお答えいただいた方にうかがいます。
その具体的な内容はどのようなことですか。（〇はいくつでも）

- | | | |
|----|----------------------------|--|
| 1 | 採用時の条件 | |
| 2 | 賃金, 昇進, 昇格 | |
| 3 | 能力の評価 | |
| 4 | 女性は庶務的な仕事など男女で職務内容を固定的に分ける | |
| 5 | 仕事に対する責任の求められ方 | |
| 6 | 研修の機会や内容 | |
| 7 | 有給休暇の取得のしやすさ | |
| 8 | 育児・介護休暇の取得のしやすさ | |
| 9 | 女性に対して結婚, 出産退職などの慣習がある | |
| 10 | 転勤や異動 | |
| 11 | その他（具体的に： _____） | |

問13 次の仕事へのかかわり方について、あなたはどうお考えですか。（それぞれについて該当する「1～5」に〇を1つ）

	そう思う	えはそう思う どちらかとい	えはそう思わ ない	どちらかとい	そう思わない	わからない
(1) 女性は結婚するまでは、仕事を続けた方がよい	1	2	3	4	5	
(2) 女性は子どもができるまでは、仕事を続けた方がよい	1	2	3	4	5	
(3) 女性は子どもが生まれても仕事を続ける方がよい	1	2	3	4	5	
(4) 女性は出産や子育てで一時的に仕事をやめても、その時期が過ぎたら再び仕事を持つ方がよい	1	2	3	4	5	
(5) 女性は仕事を一生涯持たない方がよい	1	2	3	4	5	
(6) 男性は家族を支えるため、仕事を中心に生活した方がよい	1	2	3	4	5	
(7) 男女問わずフルタイムの仕事よりは、自由時間の多いパートの仕事の方がよい	1	2	3	4	5	
(8) 男女問わず家庭・家族との触れあいが充実することで仕事にも良い影響を与えると思うから、うまくバランスをとりながら生活した方がよい	1	2	3	4	5	
(9) 男女問わずできることなら仕事よりも家庭・家族との時間を大切にされた方がよい	1	2	3	4	5	

問14 あなたは途中で仕事を辞めた経験がありますか。（〇は1つ）

1	ある	→	問15-1へ	2	ない	→	問16へ
---	----	---	--------	---	----	---	------

問15-1 問14で、1の「ある」とお答えいただいた方にうかがいます。
仕事を辞めた主な理由はなんですか。(〇は1つ)

- 1 健康上の理由のため
- 2 家事や育児に専念するため
- 3 家事や育児との両立が困難であるため
- 4 高齢者や病人の介護のため
- 5 経済的に働く必要がなくなったため
- 6 賃金や待遇などで勤め先や仕事の内容に不満があったため
- 7 勤め先の人間関係のため
- 8 結婚(自主的)のため
- 9 勤め先で、結婚・出産退職の慣行があったため
- 10 夫(妻)の転勤のため
- 11 家族の反対や無理解のため
- 12 その他(具体的に:)

問15-2 問14で、1の「ある」とお答えいただいた方に伺います。
仕事を辞めたあと、再就職しましたか。(〇は1つ)

- 1 した 2 しない 3 したかったができなかった。

問16 女性が働きやすくするためにはどんなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 労働時間の短縮や休日の増加を促進する
- 2 保育施設や介護のための施設・サービスを充実する
- 3 育児・介護のための休暇制度を充実するとともに、男性も取得しやすい環境整備を図る
- 4 出産・介護などで退職した女性の能力を生かした再雇用制度を充実する
- 5 昇進・昇格や賃金、仕事内容など労働条件面での男女間格差を是正する
- 6 各種研修や職業訓練などの機会を充実する
- 7 フレックスタイム制や在宅勤務制度などの導入を促進する
- 8 女性の起業に対する相談窓口の設置など行政のサポート体制を強化する
- 9 女性が働くことや起業することに対する社会的理解の向上を図る
- 10 その他(具体的に:)

5 地域活動・社会参画について

問17-1 あなたは現在、町内会やボランティアなどの地域活動はしていますか。

- 1 している → 問17-2へ 2 していない → 問17-3へ

問17-2 問17-1で、1の「している」とお答えいただいた方にうかがいます。
それはどのような活動内容(分野)ですか。(あてはまる主なものに○を1つ)

1	まちづくり関係	2	自然環境保護関係	3	子ども関係
4	高齢者関係	5	障害者関係	6	安全・安心な生活関係
7	健康や医療関係	8	スポーツ・文化関係	9	災害関係
10	町内会関係	11	その他(具体的)		

問17-3 問17-1で、2の「していない」とお答えいただいた方にうかがいます。
地域活動をするということについてどう思いますか(○は1つ)

1	以前、地域活動をしていたが、現在はやめている
2	現在、地域活動をするための準備をしている
3	今後、地域活動をしたいと思うが、現在はそれに向けた準備はしていない
4	地域活動はしたいと思わない。
5	わからない

問18-1 議員や審議会委員など、政策方針決定の場に女性が参画することについて、
あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

1	男性を上回るほど増える方がよい
2	男女半々になるくらいまで増える方がよい
3	男女半々まではいかなくても、今より増える方がよい
4	今のままでよい
5	今より少ない方がよい
6	その他(具体的に)

問18-2 問18-1で、1~3のいずれかと回答された方にうかがいます。
議員や審議会委員など、政策方針決定の場に女性が増えていくためには、どの
ようなことが必要だと思いますか。あなたが特に重要だと思うものを選んでくだ
さい。(○は1つ)

1	人々の抵抗感をなくすこと
2	男性優位の組織運営を改善すること
3	女性の能力開発の機会を充実させること
4	女性自身が積極的な参画意識をもつこと
5	家族からの支援や協力があること
6	政策方針決定の場に女性の比率を高めるための取組を充実させること
7	その他(具体的)

6 ドメスティック・バイオレンス(配偶者・恋人等からの暴力)について

問19-1 配偶者(元配偶者も含む。)や恋人から暴力(問19-2のようなこと)を受けた経験はありますか。

1 ある	→	問19-2へ
2 ない	→	問19-2へ
3 わからない	→	問20へ

問19-2 問19-1で、1の「ある」と答えた方におうかがいします。
それはどのようなことですか(〇はいくつでも)

1	大切にしているものをわざと捨てたり壊したりされる	
2	「ばかだ、役立たずだ」などと言われる	
3	外出や人との付き合いを制限される	
4	身体を傷つける可能性のあるもので殴られる	
5	平手で打たれる	
6	げんこつで殴られたり、足で蹴られたりする	
7	大声でどなられたり、暴言を吐かれる	
8	嫌がっているのに性的行為を強要される	
9	何を言っても無視され続ける	
10	生活費を渡さないなど、経済的におさえつけられる	
11	その他(具体的に：)	

問19-3 問19-1で、1の「ある」と答えた方におうかがいします。

あなたは、配偶者から受けたそのような行為について、だれかに打ち明けた
り、相談したりしましたか。(〇はいくつでも)

1	県婦人相談所・配偶者暴力相談支援センターに相談した	
2	県民センターなど上記以外の県の相談窓口で相談した	
3	石岡市の相談窓口で相談した	
4	警察に連絡・相談した	
5	法務局、法テラス、人権擁護委員に相談した	
6	上記(1~5)以外の公的な機関に相談した	
7	民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど)に相談した。	
8	医療関係者(医師、看護師など)に相談した	
9	学校関係者(教員、養護教員、スクールカウンセラーなど)に相談した。	
10	家族や親せきに相談した	
11	友人・知人に相談した	
12	その他(具体的に：)	
13	相談しなかった	

問19-4 問19-3で13の「相談しなかった」と答えた方におうかがいします。どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。(〇はいくつでも)

- 1 どこ(だれ)に相談してよいかわからなかったから
- 2 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
- 3 相談してもむだだと思ったから
- 4 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
- 5 加害者に「だれにも言うな」とおどされたから
- 6 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
- 7 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
- 8 世間体が悪いから
- 9 他人を巻き込みたくなかったから
- 10 他人に知られると、これまで通りのつき合い(仕事や学校などの人間関係)ができなくなると思ったから
- 11 そのことについて思い出したくなかったから
- 12 自分にも悪いところがあると思ったから
- 13 相手の行為は愛情の表現だと思ったから
- 14 相談するほどのことではないと思ったから
- 15 その他(具体的に：)

7 男女共同参画社会について

問20 次にあげる言葉や施策等の中で、あなたが見たり聞いたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)

- 1 女子差別撤廃条約(女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約)
- 2 男女共同参画社会基本法
- 3 男女雇用機会均等法
- 4 育児・介護休業法
- 5 DV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律)
- 6 茨城県男女共同参画推進条例
- 7 茨城県男女共同参画基本計画
- 8 石岡市男女共同参画条例
- 9 石岡市男女共同参画基本計画
- 10 さわやかハーモニーセミナー(男女共同参画の意識啓発のために開催しているセミナー)
- 11 女性のための困りごと相談(市役所本庁舎・八郷総合支所で毎月5回開催)
- 12 ハーモニーコーナー(「広報いしおか」の男女共同参画関連記事のコーナー)
- 13 ポジティブ・アクション(積極的改善措置)
- 14 ジェンダー(文化的・社会的につくられた性差)
- 15 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)
- 16 見たり聞いたりしたものはない

問21 男女共同参画社会を実現するためには、市は今後どのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 関係する制度の制定や見直し
- 2 女性に不利な慣習の見直し
- 3 男女共同参画全般についての意識啓発、広報活動の充実
- 4 男女共同参画の視点に立った教育や学習の充実
- 5 男女が共に働きやすい就業環境の整備
- 6 各種保育や介護サービスの充実など仕事と家庭の両立支援
- 7 審議会など政策や方針決定過程への女性の積極的起用
- 8 行政機関や公立学校における女性管理職の積極的起用
- 9 地域や団体に活躍できる女性リーダーの養成
- 10 女性の再就職や起業を支援する相談や情報提供などの施策の充実
- 11 配偶者等からの暴力被害の防止、根絶や相談・救援体制の充実
- 12 農林漁業・商工サービス業の家族従事者の地位の向上
- 13 男性も対象とした各種講座や相談活動の充実
- 14 男女共同参画社会実現のための各種情報の提供や団体交流、調査研究などを実施する拠点施設の設置
- 15 その他（具体的に： _____）

問22 石岡市では、平成18年4月から男女共同参画条例を施行していますが、あなたはこの条例の内容をご存知ですか。（〇は1つ）

- | | |
|----------|-------------------------|
| 1 知っている | 2 施行したことは知っているが、内容は知らない |
| 3 全く知らない | |

問23 男女平等や男女共同参画などについて普段感じていること、市へのご意見、ご要望等がございましたら、自由にご記入下さい。

これですべての調査は終了です。ご協力ありがとうございました。